

他産地との交流できゅうり栽培の技術力を高めよう！

～県内外のスタディクラブとの交流会を開催しました～

山武農業事務所改良普及課 令和7年2月13日発

山武地域のきゅうり産地では、栽培管理について生産者が互いに学び合うスタディクラブが2組織活動しています。

このたび、旭市や群馬県館林市で活動するクラブが山武地域に集まり、組織活動の活性化と栽培技術の向上を目的に交流会を開催しました。この取組は今回で3回目となります。

ほ場視察では、実際の栽培状況を観察しながら、環境制御機器を用いた栽培管理技術などについて意見を交わしました。その後各地域の栽培状況や課題等に関する情報交換会を行い、そこでは、生産者同士の意見が活発に交換され、参加者からは「他産地の現状を直接聞けて良い機会となった。」「今後も産地間交流を行いたい。」などの声が上がりました。

農業事務所では、引き続き、当産地で活動する2つのスタディクラブへの支援を通じ、組織の活性化や生産者の栽培技術の向上に積極的に取り組んでいきます。



ほ場視察



情報交換会